

平成29年2月8日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「セーフ・フロム・ハーム」 -より安全かつ安心な活動のために-

青少年を取り巻く環境には、いじめや児童虐待といった危険が多く潜んでおり、大きな社会問題となっています。学校などの教育現場を中心に各地方自治体や県、国によって様々な取り組みが行われている中、ボーイスカウト日本連盟（文京区本郷、理事長・奥島孝康）は、独自の取り組みを展開しております。



当連盟では、スカウト活動において自分自身と周りの人々を「ハーム（harm：危害や危険）」から守ることを学び、より安全で安心な活動の環境を築くことを目的とした「セーフ・フロム・ハーム」という取り組みを導入しました。

この取り組みを通じて、自尊心を大切にできる子どもたちを育てるために、全ての成人指導者があらゆる危害や危険に対しての理解を深めて行動するとともに、組織としての危機管理意識を高めることで、子ども同士、子どもと指導者、指導者と保護者・指導者、それぞれの関係において、常に安全かつ安心な活動を行うべく、全国で活動する約5万人の全成人指導者に対し、平成29年度の加盟登録よりeラーニング研修を必須とし、この取り組みを推進してまいります。

日本連盟ホームページでは、「セーフ・フロム・ハーム」の取り組みの詳細をご覧いただける他、eラーニングの受講も可能です。詳しくはこちら (<http://www.scout.or.jp/sfh/>) をご覧ください。

なお、「セーフ・フロム・ハーム」の取り組みが、企業でのパワハラやモラハラ対策にも役立つとして、日経ビジネスオンラインにて取り上げられました。ぜひ、こちらも合わせてご覧ください。

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/16/021900010/012600033/>

(2017.1.27 掲載 日経ビジネスオンライン「組織を健全に保つ『セーフ・フロム・ハーム』」)

※この件に関しましては、下記までお問い合わせください。

ちなみに・・・

2月22日は、世界友情の日

1963年にギリシャで行われた第19回世界スカウト会議において、2月22日を「世界友情の日」と制定しました。この日は、創始者であるベーデン-パウエル卿（以下、B-P）の誕生日で、今年で生誕160年を迎えます。ちなみに、B-Pの妻でガールスカウトの創始者でもあるオレブ・ベーデン-パウエルも同日が誕生日です。

日本国内でも毎年、全国各地で「B-P祭」と呼ばれる記念行事を行っております。

この件に対するお問い合わせ先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 事務局 社会連携・広報部

TEL 03-5805-2903 FAX 03-5805-2908 E-mail pr@scout.or.jp